

# 歴史的な資源に 新たな価値を

## 観光・地域振興の視点から見た 歴史的建築物の保存・活用

各地の古民家をリノベーションし、「NIPPONIA」ブランドで、宿泊施設を展開する一般社団法人ノオトの代表理事である伊藤清花さんをお招きし、地域の特性や歴史的建築物を活かした持続可能な事業の構築について、事例を交えながらお話を伺います。後半では、観光・経済の視点から名古屋学院大学教授の古池嘉和さんに加わっていただき、都市部に残る歴史的建造物を中心とした地域資源を観光・地域振興の視点で、どのようにまちづくりに活かせるのかを対談形式で進めていきます。

2020年10月17日[土]

14:00-16:00

オンライン配信

ゲスト

伊藤清花氏(一般社団法人ノオト 代表理事)

古池嘉和氏(名古屋学院大学 教授)

共催:公益財団法人名古屋まちづくり公社  
ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会  
会場:オンラインにて開催

視聴方法:下記URLよりお申し込みください。

\*申込み締切:2020年10月16日[金] 12:00

<http://www.creative-nagoya.jp>

注意事項

- \*本プログラムは、インターネット上のみで開催します。
- \*お申し込み受付後、前日までに視聴URLをお送りします。
- \*視聴にはインターネットに接続可能なパソコンもしくはスマートフォンが必要です。
- \*トークの録画、画面録画はご遠慮ください。



福住宿場町ホテルNIPPONIA外観 丹波篠山市(兵庫県)



集落丸山 丹波篠山市(兵庫県)



竹田城 城下町ホテルNIPPONIA レストラン 朝来市(兵庫県)



篠山 城下町ホテルNIPPONIA 丹波篠山市(兵庫県)



お問い合わせ

公益財団法人名古屋まちづくり公社
460-0002 名古屋市中区丸の内二丁目1番36号 NUP・フジサワ丸の内ビル
TEL:052-222-2311 FAX:052-222-2339
Email: contact@nagoya-rekimachinet.jp URL: www.nagoya-rekimachinet.jp

ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会

460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1-1 TEL:052-972-3172 FAX:052-972-4128
Email: info@creative-nagoya.jp URL: www.creative-nagoya.jp

歴史的な資源に新たな価値を

観光・地域振興の視点から見た、歴史的建築物の保存・活用

名古屋まちづくり公社×ユネスコ・デザイン都市なごや
まちづくりシンポジウム

2020年10月17日[土]
14:00-16:00

オンライン配信

ゲスト 伊藤清花氏(一般社団法人ノオト 代表理事)
古池嘉和氏(名古屋学院大学 教授)



基調講演
伊藤清花氏(一般社団法人ノオト 代表理事)

大阪府豊中市生まれ。2008年関西大学文学部卒業。
CRM戦略構築支援を得意とするWebマーケティング関連企業に勤務後、2013年に一般社団法人ノオト\*に参画。
2017年まで創造都市ネットワーク日本の拡充を目指す文化芸術創造都市推進事業(文化庁)の事務局を務めながら、歴史地区再生による観光まちづくり事業「NIPPONIA\*\*」の立ち上げ・推進に従事。集落丸山(兵庫県丹波篠山市)、篠山城下町ホテルNIPPONIA(兵庫県丹波篠山市)等、複数のプロジェクトの企画支援・開発に携わる。
2019年10月同社代表理事に就任。現在は、NIPPONIAのさらなる充実に向けたネットワーク構築と人材育成に注力している。

モデレーター
古池嘉和氏(名古屋学院大学 教授)

1959年名古屋生まれ。名古屋学院大学現代社会学部教授。博士(経済学)。主に伝統産業と地域文化を研究。福井県立大学経済・経営学研究科経済学専攻博士後期課程単位取得短期退学。元富山大学芸術文化科学研究科教授。同志社大学・金城学院大学・名古屋芸術大学非常勤講師、あいちシルバーカレッジ講師。主著に『地域の産業・文化と観光まちづくり』学芸出版社(2011)、『地域の自律的蘇生と文化政策の役割(共著)』学文社(2011)など多数。現在、豊田市観光実践計画策定委員会委員、多治見市文化振興事業団評議員、名古屋地域まちづくり活動助成等評価委員会委員長、名古屋市文化振興計画策定検討会議委員、伊藤家住宅の保存及び活用に関する懇談会構成員、中川運河助成(ARToC10)選考委員などを務める。

\*一般社団法人ノオトについて

2009年に篠山市(現丹波篠山市)にある丸山集落の空き家再生事業に取り組んだことが起点となっている。その後、日本各地に残されている古民家や古い建物をリノベーションし、その土地に根付く文化や歴史を残しつつ、宿泊施設やレストランなどとして新たに活用していく取り組み「NIPPONIA」を株式会社NOTEと共に展開。歴史的建築物を次世代に継承するための理念や手法、必要となる制度改正、それらを通じた地域再生について調査研究や政策提言を行なっている。
主な事業：NIPPONIAなどの空き家や古民家活用企画・調査事業(丹波篠山、豊岡市、ならまち、など多数)

\*\*NIPPONIAについて

「NIPPONIA」とは、「なつかしくて、あたらしい、日本の暮らしをつくる」をテーマに、その土地に根付く文化や歴史を残すために、まち全体を面にとらえながら、古民家や古い建物をリノベーションし、宿泊施設等として新たに活用していく取り組み。活用によって、観光客や移住者による人の行き交いを生み出し、観光産業や修復産業などが育つことで地域創生・地域再生につなげていくことを最終的な目的としている。これまでの主な取り組みとしては、2013年に天空の城として知られる竹田城下にある築400年の旧木村酒造をリノベーションした「竹田城 城下町ホテルEN」、2015年に開業した城下町全体をひとつのホテルとしてみたと分散型ホテルの「篠山城下町ホテルNIPPONIA」などがある。日本の古き良き文化を間近に体験できる場所として、徐々に話題を集め、現在では、日本全国に数箇所の「NIPPONIA」が点在している。当地域では、2019年に、築100年を超える商家を「NIPPONIA 美濃商家町」として再生した。